



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 SJ ホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 李 堅
(JASDAQ コード番号：2315)
問合せ先 取締役・管理本部長 木村 裕
電話番号 03-5781-7311 (代表)

会社名 イーピーエス株式会社
代表者名 代表取締役社長 巖 浩
(東証一部 コード番号：4282)
問合せ先 常務取締役 神宮 孝一
電話番号 03-5684-7797 (代表)

株式会社 SJ ホールディングスとイーピーエス株式会社との資本・業務提携について

株式会社 SJ ホールディングス（本社：東京都品川区、資本金：1,023 百万円 以下、「SJ ホールディングス」といいます。）とイーピーエス株式会社（本社：東京都文京区、資本金：1,875 百万円 以下「イーピーエス」といいます。）は、平成 20 年 5 月 9 日の双方の取締役会において、両社間での資本・業務提携を決議致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 資本・業務提携の目的

SJ ホールディングスとイーピーエスは、本資本・業務提携に伴い、両社グループが保有する技術ノウハウ、人材、顧客、海外ネットワーク等の資源を包括的に活用することにより、日本・中国を中心とするアジア地域における既存事業の基盤強化と規模拡大をはかり、かつ、両社の事業領域拡大（エンラージメント）と経営基盤充実（エンリッチメント）を目指します。

SJ グループは、システム開発、ソフトウェア製品、情報関連商品からなる情報サービスが主力事業ですが、独自の日中「分散開発モデル」を構築し、日本で培った IT ビジネスのノウハウをもとに、創業以来、積極的に中国でのビジネスを拡大してまいりました。また、日本国内だけではなく、今後更なる成長が見込める中国国内 IT サービス市場において、金融・情報通信・電力・石油化学といった主力業界を中心に、幅広く顧客市場を開拓してまいりました。

一方、急拡大中のオフショア開発ニーズに対応するため、中国国内の開発体制の増強と日本国内の営業力の強化を進めていく必要があります。

これに対し、イーピーエスグループは、CRO 事業、SMO 事業、非臨床事業及びソフトウェア開発事業

を遂行しております。特に医薬品並びに医療機器に関わる業務においては、グループ全体で非臨床試験、臨床試験から薬事申請、製造販売後調査までのフルサービスを提供する体制を構築しており、日本における本業界のリーディングカンパニーとして、持続的な成長を遂げてきております。

一方、主要顧客である製薬業界の競争激化に伴い、臨床試験の迅速化・効率化が求められており、グローバル試験、中でもアジア諸国との協力が重要な課題となってきております。イーピーエスは従前より中国を始め、アジア諸地域での CRO 業務を推進しておりますが、今後さらに拡充強化する必要があります。また、これに伴い臨床試験を効率的に遂行するための IT システムの構築もいっそう重要性を増しております。

そこで、SJ グループは、イーピーエスが有する医薬・医療に関する専門的な知識を共有することにより、日中の医薬・医療関連業界に対して IT サービスの提供が可能になり、新たな収益源の確保が可能になります。また、イーピーエスが SJ ホールディングスの有する日中のシステム開発能力と中国でのビジネスノウハウ、資源を活用することにより、イーピーエスのアジア展開並びに業務 IT 化の強化・合理化に寄与することができます。

さらに、SJ ホールディングスの IT 技術資源とイーピーエスの医薬・医療に関する専門的な市場・人材資源及びマーケティングノウハウを結合することにより、医薬・医療業界における新市場・新規ビジネスの創出が可能になります。

また、SJ ホールディングスとイーピーエスは、両社とも中国において幅広いビジネスネットワークを有しており、これらを融合・補完・活用することにより、公共をはじめ、成長性の高いインフラ各分野のさらに大きなスケールのビジネスを手がけることが可能であり、両社ビジネスの迅速な成長並びに日中間における経済交流にも貢献しうるものと確信しております。

2. 資本提携の概略

イーピーエスは平成 20 年 8 月 7 日までを目途に、SJ ホールディングス普通株式の 3%程度を取得する予定であります。

3. 業務提携の概略

両社の資本提携に伴う業務提携の詳細については、両社の代表取締役社長を共同委員長とする EPSJ アライアンス委員会（仮称）を組織し、早急に策定する予定であります。

4. 両社の概要（連結）

平成19年9月30日現在

項目	当事会社	
	株式会社SJホールディングス	イーピーエス株式会社
(1)商号	株式会社SJホールディングス	イーピーエス株式会社
(2)事業内容	情報サービス業	CRO、SMO、非臨床、ソフトウェア開発
(3)設立年月	平成元年7月	平成3年5月
(4)本店所在地	東京都品川区東品川四丁目12番8号	東京都文京区後楽二丁目3番19号
(5)代表者	代表取締役会長兼社長 李 堅	代表取締役社長 巖 浩
(6)資本金	1,023 百万円	1,875 百万円
(7)発行済株式数	497,479.45 株(注2)	90,400 株(注1)
(8)純資産	10,668 百万円	9,710 百万円
(9)総資産	19,959 百万円	14,537 百万円
(10)決算期	3月31日	9月30日
(11)従業員数	2,822 人	1,595 人
(12)大株主及び持株比率	李 堅 10.16% 琴井 啓文 5.71% NTT コムウェア 5.43% 日本マスタートラスト信託 2.86% ソフトバンク・テクノロジー 2.67% 日本トラスティ・サービス信託 2.62% 自社(自己株) 2.46% 周 誠 2.42% ミックス 2.12% アール・ワイ・ケー 2.01%	巖 浩 19.52% ワイ・アンド・ジー 18.53% バンク オブ ニューヨーク 5.56% 住友生命保険相互会社 2.98% 日本トラスティ・サービス信託 2.79% 野村信託 2.35% 日本マスタートラスト信託 2.03% 東京海上日動火災保険 1.79% サ ^チ チェース マンハッタン バンク 1.73% メロン バンク 1.69%
(13)主要取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 三菱東京 UFJ 銀行	三菱東京 UFJ 銀行 みずほ銀行
(14)両社間の関係	資本関係	該当事項は有りません。
	人的関係	該当事項は有りません。
	取引関係	該当事項は有りません。

(注1)自己株式 1,002 株を含んでおります。

(注2)自己株式 12,217.91 株を含んでおります。

5. 両社最近の業績（連結）

決算期	SJ ホールディングス		
	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
売上高	10,433 百万円	23,616 百万円	35,241 百万円
営業利益	1,096 百万円	1,982 百万円	2,386 百万円
経常利益	1,055 百万円	1,976 百万円	2,371 百万円
当期純利益	△675 百万円	1,016 百万円	1,353 百万円
純資産	7,633 百万円	8,647 百万円	11,404 百万円
総資産	13,161 百万円	24,113 百万円	23,174 百万円
自己資本比率	58.0%	35.9%	42.0%
1 株当たり当期純利益	△8,243.53 円	1,945.03 円	2,741.29 円
1 株当たりの配当金	1,500 円	500 円	800 円
1 株当たり純資産	77,514.27 円	17,406.56 円	19,640.84 円

決算期	イーピーエス		
	平成 17 年 9 月期	平成 18 年 9 月期	平成 19 年 9 月期
売上高	13,004 百万円	15,257 百万円	17,980 百万円
営業利益	1,793 百万円	1,958 百万円	2,980 百万円
経常利益	1,811 百万円	1,979 百万円	3,042 百万円
当期純利益	1,126 百万円	1,079 百万円	1,384 百万円
純資産	6,000 百万円	8,570 百万円	9,710 百万円
総資産	9,545 百万円	11,973 百万円	14,537 百万円
自己資本比率	62.9%	64.2%	60.0%
1 株当たり当期純利益	13,070.99 円	12,300.91 円	15,485.65 円
1 株当たり配当金	2,700 円	3,300 円	4,300 円
1 株当たり純資産	69,772.18 円	86,012.95 円	97,517.75 円

6. 今後の見通し

本提携により、両社の経営基盤の強化、事業活動の効率化が図られ、収益性の向上が見込まれますが、数値的な効果は現段階では明らかではありません。今後両社は、提携効果の早期実現を図るべく全力を尽くし、業績へ重要な影響が予想される場合には確定した段階で適時発表する予定であります。

以 上